

岡山県の 土地改良



岡山県土地改良事業団体連合会

2011 FEBRUARY
VOL. 551

平成23年度農林水産予算の政府案決定

農業農村整備事業関係 2,129億円 対前年度比100%

政府は昨年12月24日、平成23年度政府予算案を閣議決定した。農林水産予算概算決定総額は2兆2,712億円で対前年比92.6%。うち公共事業費は5,194億円で同79.1%。農業農村整備事業概算決定額は2,129億円で同100%となった。

その他の主要事項としては、農業者戸別所得補償制度8,003億円(24年度予算計上分を含む)、中山間地域直接支払交付金270億円など。

農業農村整備事業の主要事項の概要は次のとおり。

平成23年度農林水産関係予算の骨子

1. 総括表

区分	22年度 予算額	23年度 概算決定額	対前年度比
	億円	億円	%
農林水産予算総額	24,517	22,712	92.6
1. 公共事業費	6,563	5,194	79.1
一般公共事業費	6,371	5,002	78.5
災害復旧等事業費	193	193	100.0
2. 非公共事業費	17,954	17,517	97.6
一般事業費	6,342	5,931	93.5
食料安定供給関係費	11,612	11,587	99.8

注1 計数整理の結果、異動を生じることがある。
2 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。
3 上段()書きは、一括交付金への拠出額を含む金額である。

2. 公共事業費一覧

事項	22年度 予算額	23年度 概算決定額	対前年度比
	億円	億円	%
農業農村整備	2,129	2,129	100.0
林野公共	1,870	1,790	95.7
治山	688	608	88.4
森林整備	1,182	1,182	100.0
水産基盤整備	822	724	88.0
海岸	49	41	82.7
農山漁村地域整備交付金	1,500	318	21.2
一般公共事業費計	6,371	5,002	78.5
災害復旧等	193	193	100.0
公共事業費計	6,563	5,194	79.1

注1 金額は関係ベース。
2 上段()書きは、一括交付金への拠出額を含む金額である。
3 上記のほか、地域再生基盤強化交付金措置額を内閣府に計上。

農業農村整備事業(公共)

212,939 (212,939) 百万円

対策のポイント

農業生産力の強化に向け、基本的水利施設の戦略的な保全管理や食料自給率の向上等に資する農業生産基盤整備の推進などについて支援を行います。

【背景/課題】

- ・戦後整備された農業水利施設の老朽化が急速に進行しており、耐用年数を超過した施設は年々増加し、突発事故の件数も増加しています。
- ・総資産額7.6兆円の国営造成施設のうち、老朽化のため早期に改修が必要となる施設は、今後10年で約4分の1の2兆円に達する見込みです。
- ・食料自給率の向上には、麦・大豆の生産に不可欠な排水改良された水田の確保が必要ですが、区画整備済みの水田においても、その約3分の1は排水が良好でない状況にあります。
- ・豪雨、地震、地すべり等自然災害が増大する中、安全で安心な農村生活を実現するためには、災害に強い農村づくりが必要です。
- ・このような状況を踏まえ、「食料・農業・農村基本計画」で基幹的水利施設の戦略的な保全管理や食料自給率の向上等に資する農業生産基盤整備等を位置付け、戸別所得補償制度の下支えとして、これらを推進することとしています。

政策目標

- ・適時適切な補修や更新等を通じて、基幹的水利施設が有する約170万haの水田（全国の水田の約7割）及び約40万haの畑（全国の畑の約2割）に対する農業用水の安定供給機能等を確保
- ・基盤整備の実施により対象農地の耕地利用率を平成27年度までに108%以上に向上
- ・水田の汎用化のための整備により対象農地での麦・大豆の作付率を平成27年度までに17%以上に向上
- ・湛水被害等の災害が発生するおそれのある農用地を平成27年度までに約10万ha減少

【主な内容】

1. 全面的な改築・更新から長寿命化対策への転換

①国が造成した基幹的水利施設における長寿命化対策の本格導入

国が造成した基幹的水利施設を対象に、施設の機能を長期にわたり保全するため、国が機能診断を行い、施設の長寿命化計画を策定した上で、補修・補強等を着実に実施することにより、一層の施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を推進する仕組みを構築します。

◆国営施設機能保全事業【公共】

◆国営かんがい排水事業

113,381 (94,310) 百万円の内数

②機能低下が顕著な施設を対象に監視と補修・補強を行う制度の創設

国が造成し、既に機能低下が顕著な基幹的水利施設を対象に、国が施設機能の監視を行いつつ、補修・補強等を災害リスクの高い箇所から適時実施し、必要最小限の範囲で施設の機能維持を図ります。

◆特別監視制度【公共】

◆国営かんがい排水事業

113,381 (94,310) 百万円の内数

③災害等のリスク回避と畑地かんがいを含めた農業用水の安定供給等を確保

施設の老朽化等による災害・事故発生リスクを回避するとともに、畑地かんがい用水を含め農業用水の安定供給を確保します。

◆国営かんがい排水事業【公共】

113,381 (94,310) 百万円

2. 農業生産力強化に向けた農業生産基盤整備の推進

戸別所得補償制度の円滑な導入に必要な麦・大豆等の生産拡大を図るための農地の排水対策、農地を最大限活用し耕地利用率の向上を図るための条件整備等を早急に実施するとともに、島しょ部において、これと一体的に行われる国営事業により、主要なかんがい施設の整備を

加速的に実施します。

◆戸別所得補償実施円滑化基盤整備【公共】

28,016 (0) 百万円

3. 安全・安心な農村の実現

我が国の食料供給上重要な農業地域等において、農地・農業用施設等に対する湛水被害や地すべり等の自然災害を未然に防止し、農業生産力の維持や農業経営の安定化、国土保全に資することを目的として、機能回復が必要な基幹的水利施設の整備・改修や地すべり防止施設の整備等を行います。

◆国営総合農地防事業【公共】

16,971 (14,619) 百万円

◆直轄地すべり対策事業【公共】

1,900 (1,300) 百万円

4. 関連施策

①戸別所得補償制度の推進や畑作農家の所得向上に必要な条件整備を支援

戸別所得補償制度の本格実施初年度にあたり、麦・大豆等の戦略作物等の生産拡大の支障となっている排水不良や、施設の老朽化等による用水の不足等に対応するため、暗渠排水、水路の緊急補修、畑地の土層改良等の整備を実施します。

◆戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業

22,000 (0) 百万円

②地域共同による農地周りの水路等の保安全管理と長寿命化の取組を支援

個々の農家での対応が困難なことから、現行の農地・水・環境保全向上対策や中山間地域等直接支払制度の実施によりこれまで地域共同で行ってきた資源の基礎的な保安全管理活動に加え、老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新を行う集落（活動組織）を直接交付により支援します。

◆農地・水保安全管理支払交付金【所要額】

28,497 (23,448) 百万円

岡山県土地改良事業団体連合会役員会開催

平成23年1月14日（金）岡山市北区内山下県土連ビル役員室において岡山県土地改良事業団体連合会役員会（第2回）が開催された。

石垣正夫副会長（新見市長）の挨拶に続き、岡本信吾副会長常務理事から業務報告が行われ、井上稔朗理事（赤磐市長）、安東美孝理事（美作市長）を議事録署名人に選任し議案の審議に入った。



議 事

理事会承認事項

議案第1号 諸規程の改正について

議案第2号 第54回通常総会の開催について

議案第3号 第52回土地改良功労者表彰について

議案第4号 積立金の振替について

理事会承認総会付議事項

議案第5号 平成22年度一般会計収支補正予算について

議案第6号 平成23年度事業計画について

議案第7号 平成23年度賦課金の算出・徴収方法及び時期について

議案第8号 平成23年度一般会計・特別会計収支予算について

議案第9号 積立金の一時充当について

議案第10号 資金並びに積立金の預入先について

議案第11号 役員報酬について

議案第12号 役員補選について

審議の結果原案通り承認された。

第54回通常総会は平成23年2月16日（水）午前10時～ 岡山プラザホテルにて開催

内閣府の行政刷新会議に設置された「規制・制度改革に関する分科会」に設置された「農林・地域活性化ワーキング・グループ」(第8回)平成23年1月20日開催の資料が行政刷新会議のホームページで公開される。今後のスケジュールとしては3月に行政刷新会議への報告、政府の方針を閣議決定予定とのこと。

「農林・地域活性化ワーキング・グループ」(第8回)の資料：規制・制度改革検討シート(案)
【農林・地域活性化 農林6】

事項名	土地改良事業の効率化
規制・制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産基盤の向上のため、農林水産省の農業農村整備事業として国等の補助事業により施行された土地改良事業であるが、昭和40年代に実施されたものについては設備の老朽化が顕著である。 ・これらを修繕改修するためには莫大な事業費に加え受益者の更なる負担が発生する。 <p><根拠法令></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法第12条(設立費用の負担)等
改革の方向性(当初案)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良事業における受益者負担金については、就農者の高齢化による離農者の増加や、米の自由市場化以降の価格の下落による農業所得の減少などから滞納者が発生するなど農業経営者にとって大きな負担となっている。 ・農業者戸別補償制度の目的にも掲げられている農業経営の安定と国内生産力の確保を推進するうえでは、これらの生産費にかかる部分への配慮も必要と考えられることから、国による受益者負担への減額措置等を検討すべきである。 ・併せて、これらを管理している各土地改良事務所についても組織の整理合理化を積極的に推進し、各自治体業務として統合するなど人件費及び事務経費の削減を図ることで受益者負担の軽減を図るべきである。 ・また、農業法人など民間企業による管理業務受託など、民間ノウハウの導入を図り管理運営の効率化への取り組みを進めるべきである。
改革事項に対する基本的考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者戸別所得補償制度の目的にも掲げられている農業経営の安定と国内生産力の確保を推進するうえでは、設備費用等の一層の効率化・合理化を行い、農業者の負担を軽減することが必要不可欠である。 ・新成長戦略においても「高度経済成長期に集中投資した社会資本ストックが今後急速に老朽化することを踏まえ、維持修繕、更新投資等の戦略的な維持管理を進め、国民の安全・安心の確保の観点からリスク管理を徹底することが必要である。」とされている。 ・したがって、土地改良組織について、各自治体業務として統合するなど整理合理化を積極的に推進し、人件費及び事務所等の経費の削減を図るべきである。 ・土地改良事業団体連合会による仕様や業者についての制約が、事業遂行・維持管理の高コスト化を招いている。透明性・効率性の確保のため、土地改良事業団体連合会が土地改良事業遂行へ関与することをやめるべきである。
具体例、経済効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良事業における受益者負担金は、地域によって差はあるものの、10ha経営する農家で年間60～80万円程度(昭和40～50年代の基盤整備分が残っている場合、さらに同額程度が上乗せ)の地域もある。農業者の減少により、1人あたりの負担額は増大しつつある。設備の老朽化も踏まえ、今後はより効率的・効果的な整備が必要不可欠である。 ・土地改良事業団体連合会の関与が大きく、設計から施工まで随意契約が多いなど透明性が確保されず効率化が進められなかったが、その役割が地方自治体に移管されれば、競争入札の活用等透明性の確保された取り組みが進む。 ・各土地改良事務所は、現在のように集落毎に設置する必要はなく、整理を進めるべき。
改革案	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区の役割を見直し、その業務の地方自治体や民間企業への移管を推進し、整理合理化を進め、低コストかつ効率的な事業遂行・維持管理を可能とすべきである。 <p>【平成23年度中措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透明性・効率性の確保のため、土地改良事業団体連合会が土地改良事業遂行へ関与することをやめるべきである。【平成23年度中措置】



自然と文化のインターフェイスへ
ランデス株式会社

本社 岡山県真庭市開田 630-1 〒719-3192
TEL 0867-52-1141 FAX 0867-52-3515
ホームページ http://www.landes.co.jp
本社営業所 0867-52-1021(代) 岡山営業所 086-287-7777(代)
営業所/本社・岡山・山陰・広島・東広島・山口・三次出張所
工場/落合・久米南・高梁・鏡野・西原・倉敷・広島・山口・エクステリア

大和クレス株式会社

本社/〒703-8244 岡山市中区藤原西町2丁目7-34
☎ (086) 271-1221 FAX (086) 273-4005
岡山営業所/〒703-8244 岡山市中区藤原西町2丁目7-34
☎ (086) 271-1003 FAX (086) 271-1456
津山営業所/〒708-1125 津山市高野本郷1693-10
☎ (0868) 26-5155 FAX (0868) 26-5241
長船工場/〒701-4625 瀬戸内市長船町福岡1508
☎ (0869) 26-2040 FAX (0869) 26-4409
英田工場/〒701-2623 美作市英田青野75-1
☎ (0868) 74-3125 FAX (0868) 74-3126

営業所 大阪・和歌山出張所・兵庫・広島・尾道・山口・四国・松山
工場 豊栄・河内・兵庫・久万

daiwa コンクリート二次製品 製造・販売

水路関連製品 環境保全型製品 ボックス関連製品 道路用製品
擁壁製品 下水道用製品

地域のみなさまに
信頼され愛される企業をめざして

コンクリート2次製品製造販売



岡山コンクリート工業株式会社
本社 〒703-8213 岡山市東区藤井288-1



TEL:086-279-0551

FAX:086-279-2918

http://www.okacon21.co.jp

津山工場/TEL:0868-29-0237
〒708-1244 岡山県津山市上村677-1
総社工場/TEL:0866-92-4666
〒719-1142 岡山県総社市桑974
岡山工場/TEL:086-995-2737
〒709-0704 岡山県赤松市沢原795-1



「緑の募金」

ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募集期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ

ゆうちょ銀行 01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店 1852041
トマト銀行岡山駅前支店 1027972

(社) 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

毎月10日は岡山の「米の日」です

1日3食をごはんにしてみませんか

「晴れの国おかやま」の温暖な大地で豊かな水と太陽の光を浴びて育ったおいしい岡山米を味わってください。ごはん中心の「日本型食生活」は、健康な体づくりやダイエットにも効果的です。ごはんには魚や野菜などを組み合わせ合わせた栄養バランスのとれた食事を心がけてください。



おいしいよ!岡山米

ごはんぼうや

岡山県米消費拡大推進協議会

岡山県の土地改良 題字:長野士郎書 第551号 平成23年2月1日発行

発行所●岡山県土地改良事業団体連合会 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目3番7号 県土連ビル

☎086-225-0921 fax086-226-0068 e-mail:info@okadoren.or.jp http://www.okadoren.or.jp

岡山支所 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館 ☎086-273-2110 fax086-272-3937

倉敷支所 〒710-0051 倉敷市幸町12-3 倉敷土地改良会館 ☎086-423-2200 fax086-426-6455

津山支所 〒709-4603 津山市中北下1300 津山市久米支所2F ☎0868-57-7661 fax0868-57-7664

印刷所●友野印刷株式会社 ☎(086) 255-1101

